

2011 年 8 月 19 日

各 位

## 中外製薬 富士御殿場研究所における RDF 焼却施設の焼却灰等の放射性物質測定結果について

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／社長：永山 治〕（以下、中外製薬）富士御殿場研究所（静岡県御殿場市）は、地域貢献を目的として、御殿場市・小山町広域行政組合（以下、同組合）が運営する RDF センターより、一般ゴミから成形された固形燃料である RDF チップを購入し、専用の蒸気発生ボイラ（以下、RDF ボイラ）にて燃焼し、その蒸気を設備の稼働に必要なエネルギーとして利用しております。今般、基準値を大きく下回る値ではあるものの、RDF チップの焼却灰より放射性セシウムが検出された旨の報告を同組合より受けましたのでお知らせします。

本年 6 月、東京都内の一般廃棄物焼却施設の飛灰（ばいじん）から高濃度の放射性セシウム（セシウム 134 および 137）が検出されたことを受け、国から静岡県を含む 15 都県内の市町村に一般廃棄物処理施設における焼却灰中の放射性セシウムを測定することが要請されました。

これにともない、同組合は 7 月に自主的な対応として RDF チップの主要な使用先である中外製薬 富士御殿場研究所の RDF ボイラ焼却灰の分析を行いました。その結果、焼却灰中の放射性セシウム濃度は下表の通りであり、埋立基準値（8,000Bq/kg 以下）を大きく下回っていました。

現在、中外製薬では RDF ボイラの稼働を停止しており、今後の稼働の有無について同組合と協議を行っております。

【測定結果】	(Bq/Kg)		
	Cs-137	Cs-134	セシウム総量
焼却灰	120	110	230
飛灰	230	210	440

(試料採取日：7 月 8 日)

以上

## 【ご参考】

- **RDF** : Refuse Derived Fuel 廃棄物固形燃料。生活ごみを破碎・乾燥し、石灰などを加えて圧縮したもの
- 飛灰（ばいじん）とはフィルタ部で集めた排ガスに含まれているもの
- セシウム濃度 **8,000 Bq/kg** 以下の焼却灰・ばいじんは最終処分場に埋立処理可能（平成 23 年 6 月 28 日環境省事務連絡 一般廃棄物焼却施設における焼却灰の測定及び当面の取り扱いについて）
- 野菜類・穀類・肉・卵・魚・その他の飲食物摂取制限に関する指標  
セシウム濃度 **500Bq/kg** 以下（平成 23 年 3 月 17 日厚生労働省医薬食品局）